

頭地地区、高野地区の法面補強ができるまで（令和2年度実施）

補強土植生のり枠工 着手前（除草後）



①のり面清掃



施工の支障になるようなのり面の雑木・浮石・崩土等を除去・清掃します。

②芯出し



材料を決まった位置に設置できるよう、ポリプロピレンロープで位置決めを行います。カーブや凹凸のあるところでは間隔を調整して、位置を決めます。

③ジオグリッド設置



GTフォームを芯出しした位置に合わせ、格子状に並べます。GTフォームは断面から見ると半円弧状になっています。

④L型アンカー打設



ジオグリッドを設置後、GTフォームがずれないようにL型のアンカー（ピンのようなもの）で、固定します。

⑤改良土吹付



配合計算表にしたがって計量・混合した改良土をジオグリッドの上面から充填するように吹き付けて、所定の形状ののり枠構造を造成します。

⑥ラス張



ラス金網をのり面全体に対して覆うように張り付け、アンカーピンを打設してのり面になじむように仕上げます。

⑦植生基材吹付



ヨモギ・シロクローバなど5種類の種子と肥料・養生材を混ぜた植生基材をのり面に吹き付けます。

完成
(令和2年11月現在)



数日経つと発芽が早いものから芽吹いてきます。約2ヶ月後には緑の斜面になります。